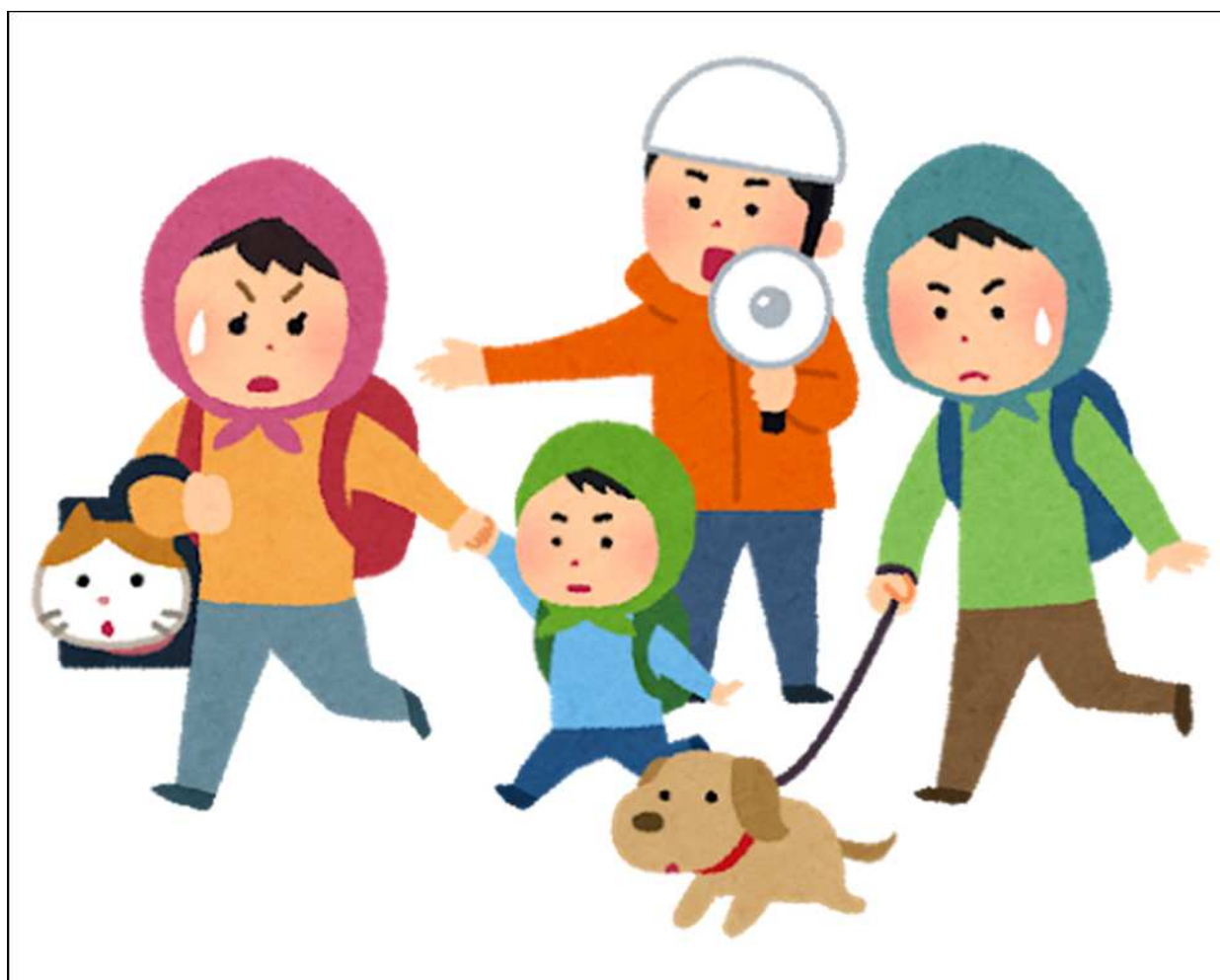


備えよう！

ペットの災害対策



西宮市動物管理センター

災害に備えましょう

災害が起こったときには、人と同じく動物も被災します。

いざというとき、飼い主とペットがともに安全に避難し、一緒に暮らせるよう日頃からの心構えと備えについて、考えておきましょう。

災害が起こったときに最初に行うことは、飼い主自身とご家族の安全確保です。ペットを守るためには、**飼い主やご家族が無事であることが何より大切**です。

ペットとともに安全に避難するため、十分な水や食料のほか、常備薬等も用意し、避難所や避難ルートを確認しておくことや、ペットに基本的なしつけをし、災害に備えておきましょう。

また、避難所での生活に備え、日頃からキャリーバックやケージに入ることなどに慣れさせておくことも必要です。



平常時からの対策

ペットのしつけと健康管理

- ケージなどの中に入ることや車に乗ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく。



- 犬の場合、不必要に吠えないようにしつける。

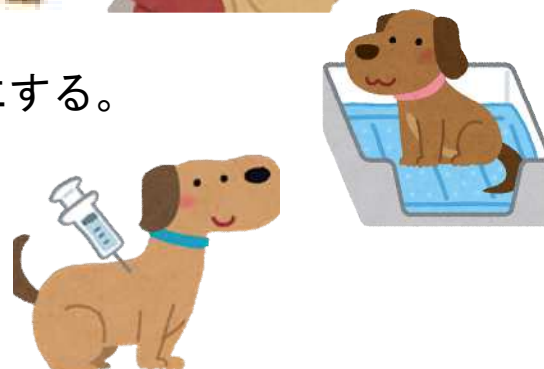
- 人や他の動物を怖がったり、攻撃的にならないよう慣らしておく。



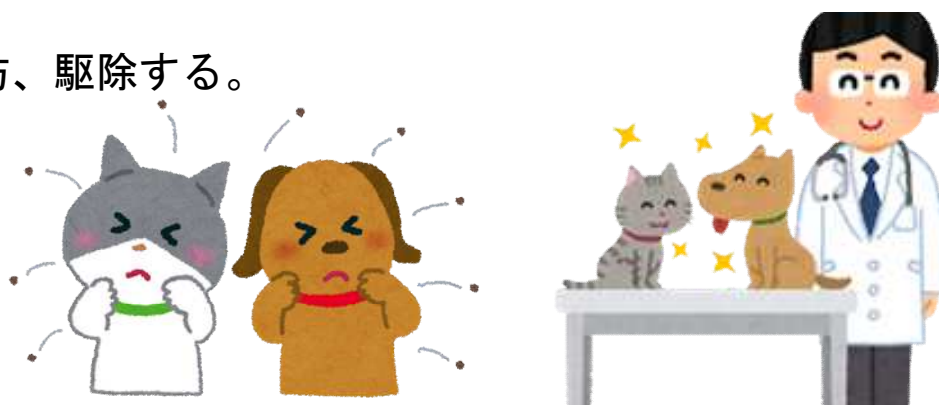
- 決められた場所で排泄ができるようにする。

- 各種ワクチンを接種する。犬の場合、

狂犬病予防接種（義務）を行う。



- ノミ・ダニなどの寄生虫を予防、駆除する。犬の場合、フィラリアを予防、駆除する。



■不妊去勢措置を行う。

(性的ストレスの軽減)

■猫の場合、屋内飼養に努める。

(放し飼いだと災害時に

行方不明になることが多い。)



ペットの迷子対策（以下の対策例による所有者明示）

■首輪と迷子札（動物の種類によっては足環・耳標など。猫の首輪はひっかかりを防止するために、力が加わると外れるタイプがよいと言われるが、これを利用する場合はマイクロチップの装着

を強く推奨する。)



■犬の場合、鑑札、狂犬病予防注射済票（飼い犬は狂犬病予防法により鑑札の装着、年1回の狂犬病予防注射をしたことの証明となる注射済票の装着が義務づけられている。)

■マイクロチップ（挿入した際は必ず（公社）日本獣医師会などに飼い主情報や動物情報を登録する。)

(令和4年6月1日から法律が施行されます。)



ペットのための避難用品・備蓄品の確保

(ペット用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例)

優先順位 1 動物の健康や命に係わるもの

■療法食、薬

■ペットフード、水



(少なくとも5日分〔できれば7日以上〕)

※ローリングストック (普段から少し多めにフード等を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量を家に備蓄しておく方法) を心がけておく。

■キャリーバッグやケージ (猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム)

■予備の首輪、リード (伸びないもの)

※定期的に点検しておく。



■ペットシート、もしくは新聞紙

■排泄物の処理用具



■トイレ用品

(猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)

■食器



優先順位 2 情報

- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報



- ペットの写真

(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効)

- ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報



優先順位 3 ペット用品

- タオル、ブラシ

- ウェットタオルや清浄綿



(目や耳の掃除など多用途に利用可能)

- ビニール袋 (排泄物の処理など多用途に利用可能)



- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品

- 洗濯ネットなど (猫の場合は屋外診療・保護の際に有用)

- ガムテープ、マジック

(ケージ補修、段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に利用可能)

避難所や避難ルートの確認

■「西宮市のホームページ（ペット（動物）の

ための防災）」や「西宮市防災マップ」を参照し、
ペットの受入れが可能な避難所の把握。



■避難所までの所要時間の確認、

ガラスの破損や看板落下などの危険な場所の把握。

（実際に、家族・ペットとともに歩いて確認する事が望ましい。）

ペットの一時預け先の確保

■避難所などでの飼養以外にも、

親戚や友人など、複数の一時預け先
を探しておくことが望ましい。



その他（ペット用の持ち出し袋も用意しておきましょう。）

■治療記録、ワクチン接種歴など、

携行できるペット情報をまとめておく。

非常用持ち出し袋とともに持ち出し

できるようにしておく。



※ペット情報を記入する表を最終ページにつけていますのでご活用ください。

災害発生時の行動

人とペットの安全確保

- 飼い主自身の安全を確保し、自身の安全確保ができてからペットの安全を確保。

避難の判断

- 得られた情報をもとに、自宅や地域の状況を確認し、避難するか自宅に留まるか判断。

避難が必要な際のペットとの同行避難

- 犬の場合、リードを付け、首輪が緩んでいないか、鑑札、狂犬病予防注射済票を装着しているかを確認。
- 小型犬はリードをつけた上で、キャリーバッグやケージに入れる。（扉をガムテープなどで固定するとよい。）
- 猫の場合、キャリーバッグやケージに入れる。（扉が開いて逸走しないようガムテープなどで固定するとよい。）
- 避難用品を持って避難場所へ向かう。

※注意

同行避難とは、避難行動を示す言葉であり、避難所でペットを人と同室で飼養管理することを意味するものではありません。

避難中のペットの飼養環境の確保（被災者自らの状況を踏まえて）

避難所で飼養する場合

- 各避難所のルールに従い、飼い主が責任を持って世話をする。
- 飼養環境の維持管理には、飼い主同士が助け合い、協力して行う。

自宅で飼養する場合

- 支援物資や情報は、必要に応じ避難所などに取りに行く。（自宅の安全確認を確実に行う。）

車の中で飼養する場合

- 支援物資や情報は、必要に応じて避難所などに取りに行く。
- ペットだけを車中に残すときは、短時間であっても車内の温度に常に注意し、十分な飲み水を用意しておく。
- 長時間、車を離れる場合は、ペットを安全な飼養場所に移動させる。（安全の確認とエコノミークラス症候群には十分注意。）

知人や施設などに預ける場合

- 被害のない地域に住む遠方の知人に預けることなども検討しておく。
- 施設に預ける場合は、条件や期間、費用などを確認し、後でトラブルが生じないように、覚書などを取り交わすようにする。

【お問合せ先】

西宮市保健所生活衛生課（西宮市動物管理センター）

西宮市鳴尾浜2丁目1-4 電話：0798-81-1220

【ペットや飼い主情報を記入して、防災グッズなどと一緒に保管しておきましょう。】

■ペットの情報1■			
顔のアップの写真 (できれば飼い主と一緒に写っているもの)		全身の写真 (できれば模様や尻尾の形など特徴がわかるもの)	
名前		性別	オス・メス / 不妊去勢 済・未
種類		体重	
毛色		生年月日	() 歳
マイクロチップ	未・済 (番号)	犬/鑑札番号	
ワクチン接種	未・済 (種類)	最近の接種日	年 月 日
ペットの既往歴 (持病、飲んでいる薬、アレルギーなど)			
性格			
特徴			
■飼い主の情報■			
氏名		家族の氏名	
住所		電話	
メールアドレス		動物病院	

■ペットの情報2■

顔のアップの写真 (できれば飼い主と一緒に写っているもの)		全身の写真 (できれば模様や尻尾の形など特徴がわかるもの)	
名前		性別	オス・メス / 不妊去勢 済・未
種類		体重	
毛色		生年月日	() 歳
マイクロチップ	未・済 (番号)	犬/鑑札番号	
ワクチン接種	未・済 (種類) 最近の接種日 年 月 日		
ペットの既往歴 (持病、飲んでいる薬、アレルギーなど)			
性格			
特徴			
■飼い主の情報■			
氏名		家族の氏名	
住所		電話	
メールアドレス		動物病院	

【参考】

■西宮市ホームページ「防災情報」

<https://www.nishi.or.jp/kurashi/anshin/bosaijoho/index.html>

■西宮市ホームページ「ペット（動物）のための防災」

<https://www.nishi.or.jp/kenko/hokenjojoho/pet/kainushinokata/pet-bosai.html>

■環境省ホームページ「人とペットの災害対策ガイドライン」

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3002.html

■環境省ホームページ「ペットも守ろう！防災対策」

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2909a.html

■環境省ホームページ「備えよう！いつもいっしょにいたいから」

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2309a.html

備えよう！ペットの災害対策

令和2年9月 発行

発行 西宮市保健所生活衛生課（動物管理センター）

〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1-4

TEL 0798-81-1220
